

謹賀新年

令和3年 新年のごあいさつ



市議会議長
森西 正

明けましておめでとうございます。

日頃より摂津市議会に対し、温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の影響で、これまでの日常が一変する事態となり、本市におきましても学校等の臨時休業や

不要不急の外出自粛を余儀なくされました。

このような中、本市では臨時議会を2回開催するなど、この感染症に対する市独自の追加支援策を迅速に実施してまいりました。また、議会といたしましてもこの未曾有の事態に対応し、感染症対策として議員報酬の減額を実施するなど取り組んできたところであります。しかしながら、感染者数、重症者数が増加傾向にあるなど予断を許さない状況が続いておりますことから、さらなる対策を講じていく必要があります。

議会といたしましては、災害の発生時や感染症の流行時に適切かつ迅速に対応するため、議会の役割などを定める「議会BCP（業務継続計画）」を昨年に改訂し、感染症への対策を強化してまいりました。今後につきましては、皆様の声を集約し、しっかりと市政に反映できるよう行政と議論を重ねてまいりますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多き一年となりますことを心から祈念申し上げます。

明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスの流行により、外出自粛や行事の中止といった行動制限を余儀なくされ、我々の生活が一変しました。生活様式の変化に伴って、これまで積み重ねてきた「絆」や「つながり」といった摂津ならではの親しみやすさが希薄化してしまうのではないかと心配しています。一日も早く普段通りの平穏な生活に戻れることを願うとともに、コロナ禍が去った後を見据え、再び市民の皆様が安心して「絆」や「つながり」を実感していただける環境づくりに取り組んでまいります。

さて、本市が主体となり新たなまちづくりに着手することとなった千里丘駅西地区市街地再開発において、昨年に事業協力者が決定しました。今後は「つなぐわ、広げるわ、育むわ」をコンセプトに、JR千里丘駅前の賑わいを創出してまいります。更に、短期のみならず、中長期的な視点にも立った鳥飼地域のまちづくりを検討してまいります。

取り巻く環境が複雑さを増す中で、本市がめざす将来像「みんなが育むつながりのまち摂津」の実現に向け、全力でまちづくりに取り組んでまいりますので、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年も皆様にとりまして幸多き飛躍の年となりますよう祈念申し上げます。



市長
森山 一正